

日時 令和7年5月13日（火）午前10時～

場所 佐久市役所南棟3階 大会議室

1 開 会 依田副委員長

2 あいさつ

吉岡教育長：5月17日付けで退任することとなった。これまでの社会教育委員会議において、資料説明だけでなく、委員同士が本音で話し合い、提言できる場にしてほしいと願い、現在のグループワーク形式が定着したことに感謝している。

今回のテーマである「居場所」と「コミュニティ・スクール（CS）」について、教育委員会は決定機関であるため、委員からの提言には「現場の課題」だけでなく、教育委員会として決定・後押しができるような強い視点を盛り込んでほしい。特にCSについては、学校の応援団にとどまらず、権限と責任を持つ「地域とともにある学校」への脱皮を図る時期に来ている。また、不登校対策としての居場所についても、学校外での受け皿づくりなど、社会教育の広い視点からの提言を期待している。

原委員長：この会議はみんなで話し合って進める場所として、過去3年間で大きな前進があった。佐久市には「子どもの居場所」の先進的な事例として野沢の「こどもセンター」がある。そこでは未就園児から中学生までが集い、学習や遊びを通じて生き生きと過ごしている。こうした事例も参考にしながら、本日のまとめを行いたい。

3 新任委員委嘱

前任委員の退任に伴い、新たに平根小学校長の清水委員に吉岡教育長より委嘱書が交付された。

清水委員：前任の中込小学校でもCSに関わり、地域の方々と協力して活動してきた。平根小学校でも地域や学校、子供たちが幸せに過ごせるよう努めたい。

4 会議事項

（1）「居場所」活動のまとめについて ※資料1

事務局：これまで2年間かけて「CSグループ」と「子育て支援グループ」で協議してきた内容を、任期の最後に教育委員会へ提言としてまとめる作業を行いたい。本日は、これまでの活動で見えてきた「課題」を再確認し、それを踏まえた「今後について（提言）」を整理し

ていただきたい。単なる活動報告にとどまらず、課題解決に向けた具体的な視点を盛り込んでほしい。次回6月の会議で最終確認を行い、教育委員会との協議に臨む予定である。

〈グループワーク・協議〉

各グループに分かれ、これまでの活動経緯、課題、今後の提言内容について協議を行った。

CSグループ：地域コーディネーター会議の開催経緯や、ボランティアの高齢化、学校担当者の異動による連携の難しさなどの課題を整理した。

子育て支援グループ：情報の集約（マップやリーフレット作成）に関する経緯や、古い情報の更新、必要な人に情報が届かない課題について議論した。また、学校や他機関との連携の必要性についても意見が出された。

事務局：本日の議論を事務局で整理し、次回の会議でまとめの案を提示する。

（２）新任期に向けての計画（社会教育委員だよりの発行）について ※資料２

事務局：社会教育委員の活動の「見える化」と会議の活性化を目的に、令和元年度から「社会教育委員だよりの（そよかぜ）」を発行している。これまでの内容は活動報告、メンバー紹介、エッセイが主であった。次期委員の任期に向けて、発行の継続や内容、広報の方法（現在はホームページ掲載や施設配置）について、現委員から意見をいただきたい。

〈質疑応答・協議〉

委員：「見える化」と言っても、実際にどれくらいの市民が手に取り、読んでいるのか疑問がある。作成の労力に対し、効果が不明確であれば見直しも必要ではないか。

委員：自身の活動（学校行事等）の際、社会教育委員の立場を説明するツールとして活用できた経験があり、地域の方に知ってもらえる良いきっかけになった。継続してほしい。

委員：広報の方法として、回覧板で回すと目に触れる機会が増えるのではないかと。また、学校の先生方が社会教育委員の存在を知らないことが多いと、学校現場への周知（LINE活用等）も検討すべき。

事務局：貴重なご意見をいただいた。「活動を知ってもらう唯一の手段」として継続する方向で考えたいが、広報の方法については不十分な点があるため、次期に向けて改善策を検討し提案したい。

(3) その他 ※資料3

事務局：資料3に基づき、今後の活動予定を説明する。

- ・ 第2回会議は6月18日（水）を予定。活動のまとめと教育委員との意見交換を行う。
- ・ 5月20日に佐久地区社会教育委員連絡協議会総会・研修会が立科町で開催される。
- ・ 全国大会（岩手県）、関東甲信越静大会（横浜市）への参加についても協力をお願いしたい。

5 閉 会 依田副委員長